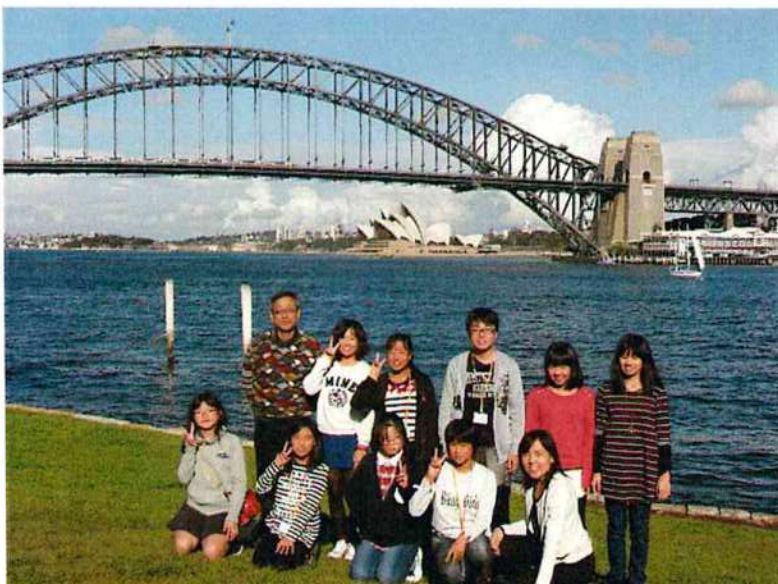




オーストラリアの思い出



事前研修～出発まで

大垣市立江並中学校 3年 松本 伽音



第1回事前研修では、初めて団員どうしが顔を合せました。自己紹介で1人1人が、決意や学びたいことを話しました。緊張もしましたが、これからこのメンバーで協力して、有意義な研修にしたいと思いました。

第2回事前研修では、まず団の目標と、グレンアイラ市の歓迎会や学校訪問で披露するパフォーマンスを決めました。「オーストラリアでの交流を通して文化を学ぼう。」「感謝の気持ちを忘れず、団で協力できる研修にしよう。」という

目標を立て、研修に臨みました。パフォーマンスは、日本の有名で伝統的な曲「ふるさと」と、世界中誰もが知っている「ミッキーマウスマーチ」を歌とリコーダーで披露することになりました。次に、ドイツ派遣団員と合同で国際理解講座“世界がもし100人の村だったら”というワークショップを受けました。その中で、「100人のうち10人が栄養不足で1人は死にそう、しかし15人は太りすぎ」という言葉がとても印象的でした。私達は、恵まれていて当たり前なのに感謝しなければいけないと思いました。また、自分とは違う文化の人を認め、理解すること、尊重し合うことも大切だと思いました。最後に、サリー先生のオーストラリア文化講座を受けました。先住民であるアボリジニのことや、なぜオーストラリアに多くの人々が来たのかなどの歴史や学校生活、一般的な家庭の様子などについて学びました。

第3回事前研修では、英語講座を受けました。ホームステイ先で家族や趣味について聞かれたとき、どんな答え方をすれば良いのかを学びました。また、自分の学校や、家族、友達などの写真を使って、自己紹介できるように練習しました。最後には、みんなの前で自己紹介しました。午後からは、出し物の練習をしました。初めての練習で、テンポが速くなったり、途中で間違えてしまったりしました。

第4回事前研修では、第3回と同じように英語講座を受けました。自己紹介を付け加えたり、直しをし、発表しました。この英語講座を通して、英語だけでなく、コミュニケーションの取り方を学びました。次に、先輩団員との交流会を行いました。疑問に思っていたことも、不安に思っていたことも、先輩団員の話聞いて、解消できました。最後に、出し物の練習をしました。練習を重ねるごとに、息が合い、上手くできるようになりました。

出発式では、改めて決意を話し、たくさんの方の事を学んできたと思いました。

4回の事前研修を通して、本当に団員の仲が深まり、目標にあったように協力できるようになりました。出発まで、不安もありましたが良い気持ちで19日を迎えることができました。



コーフィールド小学校見学 2日目

大垣市立中川小学校 6年 中島 明日香

2日目は、コーフィールド小学校に行きました。

校庭に私たちが行くと、手を振ってくれたり、日本語で「こんにちは」と声をかけてくれたりしました。

まず、図書室で校長先生の話の話を聞きました。コーフィールド小学校は、年長から小学6年までの人が通っているということを教えてくれました。

次に、クラスの授業を見に行きました。最初に見に行ったクラスは、算数の授業をしていました。算数の授業は、英語は使ってはいけなないので、日本語で話していました。筆算などを日本語で先生に聞いていました。

私達が6年生のクラスにいったら、6年生の人たちは歓迎してくれました。

私たちはふるさとを歌ったり、ミッキーマウスマーチを演奏したりしました。その後にプレゼントを生徒会長2人に渡しました。「ありがとう」と言ってくれました。そして、「学校の特別な場所に飾る」と言ってくれました。最後に去年、中川小学校に訪問した生徒と一緒に記念撮影をしました。

学校の様子を見たら、コーフィールド小学校の校歌や約束がすべて日本語で書かれていました。

コーフィールド小学校は、日本語をどの学年も話せていました。

去年、姉妹校としてコーフィールド小学校から中川小学校に来た人も日本語が上手だったし、ほかの人も日本語を上手に話せていたので、とてもすごいと思いました。

コーフィールド小学校を出てバスに乗るまで校長先生と生徒会長が見送ってくれました。コーフィールド小学校はとてもフレンドリーであたたかい小学校でした。

この経験を活かして、今年中川小学校に来るコーフィールド小学校の人とたくさん会話をしたり、あたたかく迎えてあげたいです。



思い出に残る歓迎レセプション

東海中学校 2年 澤田 大雅

研修2日目では朝早くにシドニー空港に到着した。シドニー空港で水泳の北島康介選手を見る事ができた。声をかけようとしたら北島選手の隣にいた付き人のような人に止められてしまった。話す事は出来なかったが、いい思い出になった。シドニー空港を出発し、カンタス航空の飛行機でメルボルン空港へ向かった。そこは予想以上に寒かった。事後研修の時から寒いとは聞いていたが、これほど寒いとは思っていなかった。すぐバスに乗り、歓迎レセプションの行われるグレンアイラ市役所へ向かった。バスの中では初めて見るオーストラリアの景色に感激し、たくさん写真を撮った。おもしろい形のオブジェや遠くに見えるビル群など、印象に残るものばかりだった。



そしてグレンアイラ市役所に着いた。グレンアイラ市役所は歴史のありそうな建物だったが、きれいに使われてあった。そこで食べたサンドイッチはとても美味しかった。その後、制服に着替えてコーフィールド小学校へ行った。その子どもたちは日本語で話しかけたら日本語で返してくれたから驚いた。またチャイム代わりに音楽の先生が選んだ日本の曲を流していた。コーフィールド小学校では英語と日本語のバイリンガル教育を行っており、急速に発展するアジア経済に適応できる人材を育てるためだと校長先生が言っていた。コーフィールド小学校でリコーダーと合唱を発表した後、グレンアイラ市役所へ戻った。



グレンアイラ市役所には「OGAKI ROOM」と名付けられた部屋があり、松尾芭蕉の絵や琴などが飾ってあった。そしていよいよ歓迎レセプションが始まる。歓迎レセプションにはグレンアイラ市長や市議会議員、ホストファミリーの方々も出席されると聞いていたから、とても緊張した。歓迎レセプションが始まると、まず市長からのあいさつがあった。話の内容から僕達を快く迎え入れてくれている事がよく分かった。その後、河合校長先生と野村先生からの話があり、座って聞いていた。そして河合校長先生が預かっていた親書を渡すと僕達の出番だ。お願いしますと言われて皆で「はい。」と言って立ち上がった。並んで立つと視線がこちらに向いているのが分かった。リコーダーのみで演奏する「ミッキーマウスマーチ」とリコーダー2人合唱7人で演奏する「ふるさと」を披露した。ミッキーマウスマーチでの目立つミスは無かったし、ふるさともしっかりと声が出ていたから、よかったと思う。発表が終わるとグレンアイラ市長やホストファミリーの方々に大きな拍手をしていただけたから、安心した。するとすぐに自由な時間になった。テーブルの上の料理を食べながら来てもらったホストファミリーと話す時間だ。そこでホストファミリーとの初対面だったが、優しくそうな家族だったからよかった。初めて英語で話しかけられてとまどってしまったから通訳さんの力を借りた。でも自分で頑張るって伝えようとして、相手が分かってくれた時はとても喜びを感じた。周りを見渡すと僕と同じように困った顔をしている仲間もいたが、もうすでに会話が成立しているような仲間もいた。それを見て僕は、この研修を終えるまでには相手の言っている事を理解できるレベルに成長しようと思った。事前研修で先輩団員の話聞いた時に、英語は最初は全然聞き取れないと言っていたのを思い出したが、本当にそうだと思った。しかし、そう思うという事は、自分に成長の余地があるという事でもあり、とてもわくわくした。

歓迎レセプションの会場を去ってホストファミリーと車に乗っている間もたくさん話しかけられた。僕が分からなくて聞き返しても嫌な顔をしないで何度も応えてくれるから、この人達となら楽しい生活が送れるだろうなと思った。歓迎レセプションは発表も上手くいったし、生の英語に触れたという点で新鮮だったから、思い出に残っている。

ベントレー中学・高等学校訪問

大垣市立綾里小学校 6年 村田 純菜

私達は、8月21日にベントレー中学・高等学校へホストファミリーと一緒に行きました。私は、学校へ行くまでにバスを使いました。学校に着いたら、まずホストファミリーのクラスの授業を受けました。最初は英語の授業でした。英語の授業では、日本の様に意見交換などをするのかと思っていましたが、映画を見るだけで終わりました。次に、折り紙レッスンをしました。私は、鶴の折り方を教えました。みんなに伝わったので、とても嬉しかったです。授業中で驚いたことは、ふざけていた人がいても、先生が注意をしないという事です。学校の様子で、驚いたことがありました。それは、道にみかんの皮やリンゴ丸ごと一個などが落ちていたことです。オーストラリアでは、掃除の時間がないと聞いていましたが、私が想像していたよりも、ごみの数がすごかったです。それが気にならないオージーにも驚きました。なので、日本の掃除のシステムはすごくいいことを改めて思いました。

ベントレー中学・高等学校では、おやつの時間がありました。日本では、あめ1個でも持っていったら先生に叱られます。でも、ベントレー中学・高等学校ではおやつを持って行っていいらしいです。それにわざわざおやつの時間がありました。とても驚きました。なぜ、おやつの時間があるのかと考えました。それは、日本でいう10分休みみたいな休憩時間があまりないので、おやつの時間があるとおもいました。そして、日本もおやつの時間を作ればいいのにと思いました。

他にも色々な日本との違いがありました。それは同じ学年でも下校時間がちがう事です。日本ではふつう、同じ学年は違うクラスでも帰る時間は同じです。しかし、私がおその日行ったときは早帰りの日でした。私がおもう一ついいなと思ったことは男女の中でも差別がないという事です。私の学校では、男子と女子という2つのグループに分かれていることが多いです。しかし、ベントレー中学・高等学校では、違うクラスの子や他の学年でもみんな仲の良い兄弟の様に仲良くしていました。そして、男女関係なくなかよくしていました。それにみんな初めて会った私に優しく親切に接してくれました。とても嬉しかったです。

この体験で、学んだことがあります。それは、みんな兄弟の様に仲良くという事です。ベントレー中学・高等学校での経験をいかして日本でも国境を越えても自分から積極的に輪をひろげていきたいです。



折り紙レッスン



図書館

ベントレー中学・高等学校訪問

大垣市立赤坂中学校 2年 西脇 菜生



研修3日目はホストファミリーの子たちが通うベントレー中学・高等学校の訪問がありました。まず、朝の全校集会で、リコーダーの演奏とふるさとの合唱を披露した時はとても緊張しましたが、ミスすることなくやり遂げる事ができてよかったです。

1時間目は美術の授業でした。グループで同じ机を使って作品を制作していました。

授業中には音楽が流れていてすごく明るい雰囲気での授業でした。

2・3時間目の間に少し長めの休み時間がありました。その休み時間は家から持ってきたおやつを食べてもいい時間になっています。日本にもこんな時間があったらいいな、と思いました。

私はリンゴとジンジャークッキーをもらいました。リンゴは日本のものとは違って皮が薄く、片手で持てるサイズでした。とても甘かったです。



3・4時間目は外で体育の授業でした。オーストラリアの国民的スポーツであるフットボールをしました。意外にボールが硬く、蹴るのが難しくてなかなかまっすぐ飛ばす事ができませんでした。でもまっすぐ飛ばす事ができるとすごく楽しくできました。

フットボールをしていた校庭がすごく広くて、芝生がとてもきれいに整備されていました。



5時間目は理科でした。日本とは違い、先生と生徒が会話みたいに授業が進んでいって驚きました。発言も自由で明るい雰囲気での授業が行われていました。



6時間目は英語の授業でした。図書室へ移動してパソコンを使った授業が行われていました。図書室には雑誌、日本のマンガなどが置かれていました。だからみんな日本語が上手なのだなと思いました。

授業が終わったらすぐに帰っていました。部活動ではなくてクラブ活動が中心だそうです。「日本もこんな学校だったらなあ」とうらやましくなる学校訪問でした。

楽しかった、メルボルン見学(8月22日 4日目)

大垣市立静里小学校 6年 廣瀬 朱音

今日は、メルボルンに行きました。まず、南半球で最も高いビル、ユーレカタワー・スカイデッキ 88に行きました。下から見上げるとすごく大きくて写真を撮ると上まで撮れなくて、びっくりしました。こんなに、大きいのかと改めて思いました。エレベーターに乗ると、とっても速くてびっくりしました。後で、分かったことですが、ユーレカタワー・スカイデッキ 88のエレベーターは南半球で最高速といわれる毎秒9メートル以上だそうです。そして、ユーレカタワー・スカイデッキ 88には「ザ・エッジ」というものを体験でき、「ザ・エッジ」というものがある展望台は、世界でユーレカタワー・スカイデッキ 88 だけだそうです。わたしたちは、その、「ザ・エッジ」に乗ることができました。実際乗ってみると、わたしが想像していたものと少し違いましたが、おもしろかったです。



↑

ユーレカタワー・スカイデッキ 88 のスカイデッキで撮った集合写真と、
ユーレカタワー・スカイデッキ 88 をバスから撮った写真

そのつぎに、昼ご飯を食べました。昼ご飯は、3種類から選べて、わたしはミニハンバーガーセットを選びました。食べてみると、ものすごくおいしかったです。

昼ご飯のミニハンバーガーセットの写真→



さらに、セントポール大聖堂に行きました。撮影禁止で写真がないけど美しい場所でした。

最後に、マーケットに行きました。マーケットは、とても広くてびっくりしました。お土産屋みたいなお店や、服屋など、いろいろなお店がたくさんありました。マーケットでは、小学校6年生と、中学生の2つのグループで行動しました。わたしたち、小学6年生のグループは、お土産屋3軒と服屋1軒で、買い物をしました。短い時間だったけどみんな、服を買いました。明日香ちゃんとわたしは、おそろいの服を買って、純菜ちゃんは、明日香ちゃんとわたしの色違いの服を買って、真帆ちゃんは、純菜ちゃんと同じ色の服を買いました。とても、楽しかったです。

おそろいの服を着た時の写真→



四日目 メルボルン見学

大垣市立南中学校 2年 中尾 優里

オーストラリア研修の4日目は、メルボルンの市内観光に行きました。ユーレカタワースカイデッキ88や、ビクトリアマーケット、セントポールズ大聖堂を見に行きました。

まず、ユーレカタワースカイデッキ88に行きました。ここは88階という非常に高いビルで、高さ285メートルのところに南半球で一番高い展望台があります。そこからは、メルボルン市内を一望でき、すごく遠い所まで見渡すことができました。また、外に出られる所もあって、本当に高い所だと実感しました。さらにこのビルには、南半球で最高速と言われる、地上から88階までわずか40秒で行けるエレベーターもありました。また、私たちは「ザ・エッジ」体験をしました。これは、奥行き3メートルの巨大な遮光切替ガラスのキューブでできている部分がビルから突き出していて、そこから360度見渡せるというアトラクションでした。最初は不透明のガラスだったのに、完全に突き出した瞬間には透明ガラスに切り替わったので少し怖かったです。でも、床もガラスだったので、下が見えてすごくきれいでした。そしてオーストラリアの絶景を見ることができたのでとてもよかったです。いい体験がたくさんできました。



次に、セントポールズ大聖堂を見に行きました。これは、オーストラリアで最も大きい大聖堂の一つです。日本にはない洋風の建物でした。中には、豪華なステンドグラスがあり、お祈りをする時のいすがたくさん並んでいて、とても広々としていてきれいでした。日本は、キリスト教徒が少ないです。だから教会が少なく、入ったことがなかったのでこんなに大規模な教会を見て、すごく感動しました。これは日本と、オーストラリアとの文化の違い



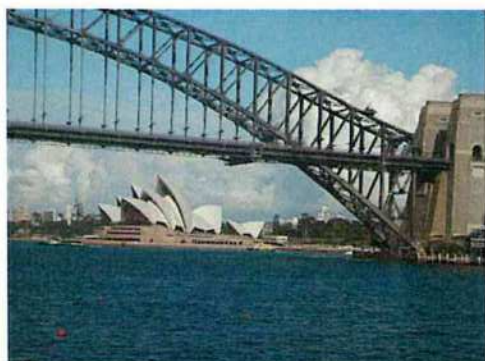
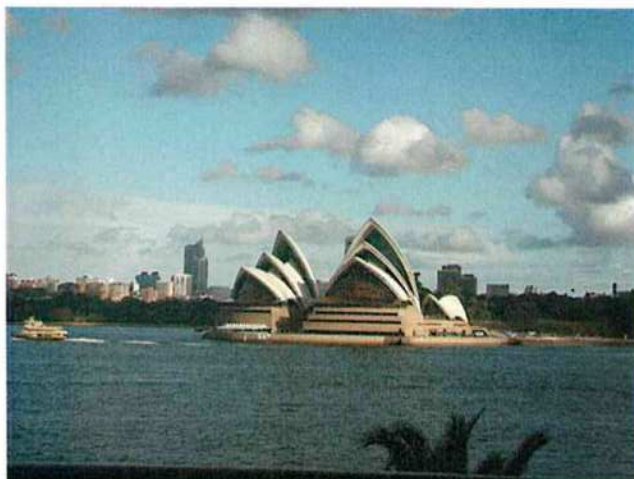
だと思いました。

さらに、トラムに乗りました。普通の道路に電車が走っているのを見てびっくりしました。トラムには、いろいろな種類があつてきれいでした。私たちは、いろいろあるトラムの中でも無料のトラムに乗りました。無料で乗って楽に移動できるのは便利でいいと思いました。そしてトラムに乗って、ビクトリアマーケットへ行きました。想像していたよりも大規模で驚きました。日本とは違う雰囲気のある所でした。そこには、玩具や、キーホルダー、服など、いろいろな種類の物が安い値段で売っていました。見ているのがとても楽しく、いいお土産が買えたのでうれしかったです。メルボルンの市内観光では、日本では見ることのできない建物や、お店などをたくさん見ることができました。思い出に残る体験ができて良かったです。



7日目の研修で、私たちはシドニーを見学しました。オペラハウス、ハーバーブリッジ、セントメアリー大聖堂を見ることができました。

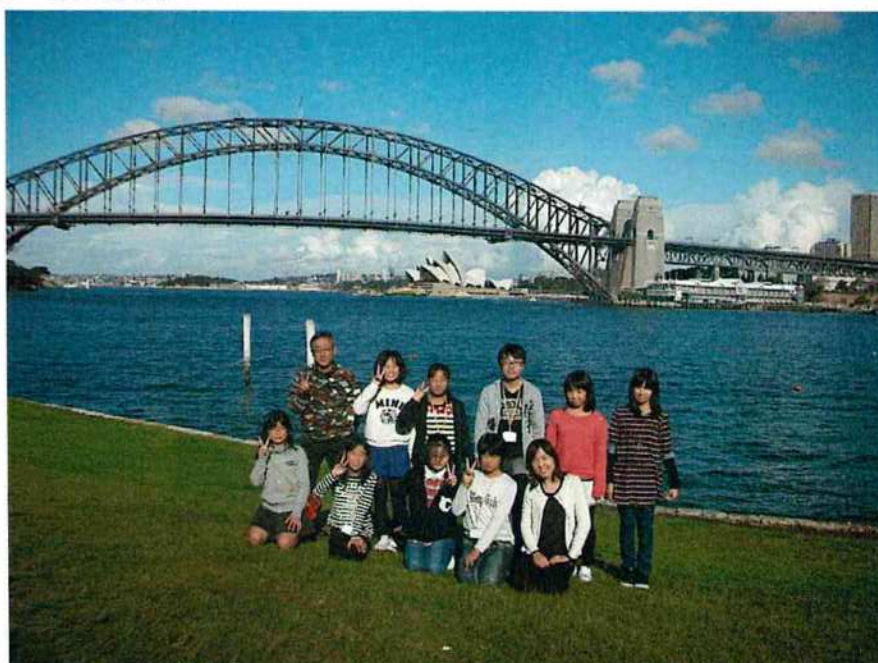
オペラハウスは、2007年世界遺産の文化遺産に登録されました。デンマークの建築家ヨルン・ウッツオン氏の設計だそうです。驚くことに、工事を開始してから完成するまで14年かかったそうです。理由は、ヨハン・ウッツオン氏が政府と折り合わなくなり、工事を休んでいた時があったからだそうです。そして、ヨハン・ウッツオン氏は、完成を見ずに自国へ帰ったそうです。そして、二度とオーストラリアを訪れることはなかったそうです。



オペラハウスは、写真で見て想像していたよりもずっと大きくてびっくりしました。海の青と白いオペラハウスのコントラストが印象的でした。私は、自分の目でオペラハウスを見たいという強い希望があったので、今回の研修で実際に見ることができ、とても感動しました。

ハーバーブリッジは、世界第2位の長さのシングルアーチです。長さは、1149mもあります。1149mもある橋をつくるなんてとてもすごいなあと思いました。

私は、オーストラリアの建築物を自分の目で見て特にオペラハウスの曲線とハーバーブリッジの曲線の美しさが心に焼き付いています。



シドニー見学（7日目）

大垣市立東中学校 2年 河村 雪乃

7日目はシドニーでオーストラリア最後の見学でした。シドニーはメルボルンから1000km離れた場所で460万人の人達が住んでいます。ここには、世界遺産や古い建物がたくさんあります。

シドニーの中で有名なものをいくつか紹介します。

まずは、オペラハウスです。オペラハウスは1973年に世界遺産になりました。オペラハウスの設計は世界各国で募集されました。32ヶ国、232点出され、その中から、ウツォンさんの作品が選ばれました。



そして14年かけて完成されました。

オペラハウスの特徴は、色が白ではなく、クリーム色だということ、また遠くからだとつながって見える建物が、近くから見ると一つ一つ離れていることです。オペラ以外にも、コンサートや合唱も開催されています。

次にハーバーブリッジです。

この橋はシングル型では世界で2位、1149mで1位の橋との差は60cmです。ハンガーのように見える為、コートハンガーとも呼ばれています。

オペラハウスとハーバーブリッジと一緒に見える景色は最高です。

次にロックスです。

ロックスは一つの街で日本でいう京都のような場所です。



オーストラリアで一番最初にできた町で、砂がゴロゴロしていたからロックスと名づけられました。ロックスは国民の重要文化財となっています。その為、家は5階建て、鉄を使ってはいけないなど様々なルールがあります。

シティーからロックスへ行ってみると風景がガラッと変わります。他にもマッコリーストリートという一番最初にできた道やステンドス教会という大きな教会など様々な場所へ行きました。

この見学を通して、文化や建物、シドニーの歴史などについて学ぶことができました。

